

消 防 団



【令和5年 大和市消防出初式】

1 消防団のあゆみ

昭和22年 6月 5日	大和町消防団設置条例を制定した。
6月16日	渋谷町消防団設置条例を制定した。
昭和25年	大和町消防団 腕用ポンプ 4 台・手引ガソリンポンプ 3 台を装備 8 個分団・構成団員数 500 人
昭和28年	大和町消防団 腕用ポンプ 14 台・手引ガソリンポンプ 4 台・自動車ポンプ 1 台を装備 9 個分団・構成団員数 500 人
昭和31年 9月	大和町は渋谷町と合併し大和町になった。
昭和32年 3月15日	大和町消防団長に荻 窪 直 義 氏就任
昭和33年 3月	日本消防協会会長表彰として消防団に「竿頭綬」が授与された。
昭和34年 2月 1日	市制施行・大和市消防団初代消防団長に荻 窪 直 義 氏が就任した。 大和市消防団・13 個分団・団員数 409 人で構成された。 大和市消防団・分団旗を作成した。
昭和36年 1月14日	大和市消防団第 2 代消防団長に佐 藤 幸 光 氏就任
昭和38年	消防力の機械化が進み消防団員の定数は削減され、13 個分団・団員数 254 人となった。
昭和39年 2月 7日	大和市消防団第 3 代消防団長に北 嶋 次 郎 氏就任
7月 1日	大和市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を制定
昭和40年 1月 9日	常備消防隊と消防団の出初式を深見小学校で挙行了した。
1月26日	大和市消防団第 4 代消防団長に金 子 利 良 氏就任
昭和42年 1月31日	大和市消防団第 5 代消防団長に平 出 寛 氏就任
4月 1日	大和市消防火の丸会設立
昭和43年10月 7日	第 18 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 7 分団（現 6 分団）が出場した（平塚市にて実施）。
昭和44年 4月 1日	大和市消防団第 6 代消防団長に坪 井 源 二 郎 氏就任
10月 9日	第 19 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 3 分団が出場した（横須賀市不入斗公園にて実施）。

昭和45年	第 20 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 10 分団（現第 5 分団）が 出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和46年	第 21 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 12 分団（現第 11 分団） が出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和47年 2月17日	第 13 分団（現第 12 分団）車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を福田 2021-26 に建 設した。
3月31日	13 個分団・254 人・水槽付ポンプ自動車 2 台・普通ポンプ自動車 7 台・小 型動力ポンプ自動車 9 台計 18 台にて運用。
8月13日	第 22 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 13 分団（現第 12 分団） が出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和48年 2月20日	日本消防協会会長表彰として消防団に「表彰旗」が授与された。
8月13日	第 23 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 2 分団が出場した （神奈川県消防学校にて実施）。
昭和49年 3月28日	第 10 分団（現第 5 分団）車庫詰所（鉄骨造平屋建）を中央林間一丁目 4-9 に建設した。
	第 24 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 5 分団（現第 9 分団）が 出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和50年 3月22日	大和東三丁目火災で、消火作業に従事していた第 6 分団（現第 4 分団）員 が殉職、市主催の消防葬儀が 4 月 8 日に行われた。
4月 1日	大和市消防団 7 代消防団長に木下隆吉氏就任
8月	第 25 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 8 分団（現第 7 分団） が出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和51年 8月 6日	第 26 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 6 分団（現第 4 分団） が出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和52年 3月31日	第 12 分団 1 班（現第 11 分団 1 班）車庫詰所（鉄骨造平屋建）を代官一丁 目 20 に建設した。
8月 4日	第 27 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 1 分団が出場した （神奈川県消防学校にて実施）。
昭和53年 2月14日	第 3 分団 2 班車庫詰所（1 階鉄筋コンクリート 2 階木造）を深見 3019 に 建設した。

8月10日	第 28 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 9 分団（現第 7 分団）が出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
9月27日	第 7 分団（現第 6 分団）の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1580cc に更新した。
昭和54年 3月26日	第 6 分団（現第 4 分団）車庫詰所（鉄筋造 2 階建）を大和南一丁目 9-14 に建設した。
3月26日	第 9 分団（現第 7 分団）車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を西鶴間三丁目 3-21 に建設した。
8月10日	第 29 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 4 分団（現第 8 分団）が出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和55年 3月22日	第 12 分団 2 班（現第 11 分団 2 班）車庫詰所（1 階鉄筋コンクリート造 2 階鉄骨造）を上和田 2707-1 に建設した。
4月23日	大和市消防団・分団旗を制作、授与式を実施した。
8月11日	第 30 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 11 分団（現第 10 分団）が出場した（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和56年 2月18日	第 11 分団 3 班（現第 10 分団 3 班）の車両を小型動力ポンプ付積載車・いすゞ 1580cc に更新した。
2月18日	第 13 分団（現第 12 分団）の車両を小型動力ポンプ付積載車・いすゞ 1580cc に更新した。
3月24日	第 5 分団（現第 9 分団）車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を中央六丁目 2-2 に建設した。
3月24日	第 11 分団 3（現第 10 分団 3 班）車庫詰所（鉄骨 2 階造）を上和田 1191-1 に建設した。
8月 7日	第 31 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 7 分団（現第 6 分団）が出場した（横浜市杉田製作所ヘリポートにて実施）。
昭和57年 3月24日	第 3 分団 1 班車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を深見 484-4 に建設した。
3月24日	第 11 分団 1 班（現第 10 分団 1 班）車庫詰所（鉄骨 2 階建）を上和田 947-15 に建設した。
8月12日	第 32 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 3 分団が出場した（横浜市杉田製作所ヘリポートにて実施）。

11月18日	第1分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1590cc に更新した。
11月18日	第5分団(現第9分団)の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1590cc に更新した。
昭和58年 2月24日	第1分団車庫詰所(鉄骨造2階建)を下鶴間 466-2 に建設した。
2月24日	第4分団(現第8分団)車庫詰所(鉄骨造2階建)を上草柳 197-5 に建設した。
4月 1日	大和市消防団第8代消防団長に菅 沼 善 治 郎 氏就任
8月 3日	第33回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第10分団(現第5分団)が出場した(平塚市オーミケンシ(株)工場跡にて実施)。
9月	第11分団2班(現第10分団2班)の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1580cc に更新した。
9月	第12分団2班(現第11分団2班)の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1580cc に更新した。
昭和59年 3月21日	第3分団3班車庫詰所(鉄骨造2階建)を深見 3328-14 に建設した。
3月21日	第11分団2班(現第10分団2班)車庫詰所(鉄骨造2階建)を福田一丁目 30-3 に建設した。
8月 2日	第34回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第12分団(現第11分団)が出場した(横浜市杉田製作所ヘリポートにて実施)。
10月	第3分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1580cc に更新した。
昭和60年 2月 8日	日本消防協会会長表彰として消防団に「竿頭綬」が授与された。
4月 1日	旧第8分団と旧第9分団が統合し現第7分団となる。改正により全分団の分団人も見直され、現在の1消防団本部、12個分団、250人の体制となった。
8月11日	第1回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞に第11分団1班が、優秀賞に第2分団・第8分団が、優良賞に第1分団・第5分団・第10分団1班が受賞した。
12月	第11分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1590cc に更新した。

昭和61年 8月 1日	第 35 回県消防操法大会に小型動力ポンプの部に第 12 分団が出場した（平塚市オーミケンシ(株)工場跡にて実施）。
11月	第 3 分団 3 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1620cc に更新した。
11月	第 10 分団 1 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1620cc に更新した。
昭和62年 2月 9日	第 6 分団車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を南林間三丁目 7-6 に建設した。
8月 2日	第 2 回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞に第 3 分団 1 班が、優秀賞に第 2 分団・第 8 分団が、優良賞に第 1 分団・第 10 分団・第 12 分団が受賞した。
昭和63年 8月 4日	第 36 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 2 分団が出場した（横浜市消防訓練センターにて実施）。
平成元年 4月 1日	菅 沼 善 治 郎 氏が県央都市消防団長会会長就任（平成元年 4 月 1 日から平成 4 年 3 月 31 日まで）
8月 6日	第 3 回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞を第 4 分団が、優秀賞を第 5 分団・第 11 分団 2 班が、優良賞を第 8 分団・第 9 分団・第 11 分団 1 班が受賞した。
10月27日	第 7 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1610cc に更新した。
平成 2年 7月16日	消防団長用車両（トヨタマーク II）を購入した。
7月26日	第 37 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 9 分団が出場し、優秀賞を受賞した（横浜市消防訓練センターにて実施）。
9月 7日	第 2 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1810cc に更新した。
9月 7日	第 4 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1810cc に更新した。
平成 3年 3月 6日	消防庁長官表彰として「竿頭綬」が消防本部・消防団に授与された。
8年 4日	第 4 回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞を第 11 分団 1 班、優秀賞を第 3 分団 B、優良賞を第 1 分団が受賞した。
平成 4年 2月13日	第 6 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1990cc に更新した。
4月 1日	大和市消防団第 9 代消防団長に岩 崎 豊 氏就任

7月26日	第38回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第4分団が出場し、優秀賞を受賞した（横浜市消防訓練センターにて実施）。
11月29日	消防団活性化事業の一環として永年勤続団員の配偶者表彰制度を制定した。
平成5年1月19日	第10分団3班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1810ccに更新した。
1月19日	第12分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1810ccに更新した。
3月13日	神奈川県消防協会より「表彰旗」が消防団に授与された。
8月1日	第5回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞を第6分団が、優秀賞を第3分団Bが、優良賞を第3分団Aが受賞した。
平成6年7月28日	第39回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第1分団が出場し、優良賞を受賞した（横浜市消防訓練センターにて実施）。
9月14日	第5分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1990ccに更新した。
9月14日	第9分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1990ccに更新した。
平成7年7月30日	第6回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞を第8分団が、優秀賞を第11分団2班が、優良賞を第4分団が受賞した。
8月29日	第11分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1990ccに更新した。
8月29日	第11分団2班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1990ccに更新した。
平成8年7月25日	第40回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第7分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
10月25日	第3分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン1990ccに更新した。
10月25日	第10分団2班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン1990ccに更新した。
平成9年11月28日	第3分団2班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン1990ccに更新した。
11月28日	第11分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン1990ccに更新した。

平成10年 3月10日	第5分団車庫詰所（鉄骨造2階建）を中央林間一丁目4-9に建設した。
3月25日	第10分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン1990ccに更新した（日本消防協会から寄贈）。
4月1日	大和市消防団第10代消防団長に鈴木茂雄氏就任
7月29日	第41回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第8分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
10月9日	第3分団3班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1990ccに更新した。
平成11年 8月1日	大和市消防団・団旗を更新した。
8月1日	大和市消防技術競技会（操法大会名称を改正）を実施する、最優秀賞を第8分団が、優秀賞を第7分団が、優良賞を第3分団Bが特別賞を第2分団が受賞した。
平成12年 3月8日	消防庁長官表彰として、消防本部・消防団に「表彰旗」が授与された。
7月26日	第42回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第10分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
9月26日	消防団員の冬・夏作業帽をアポロキャップ式に変更した。
平成13年12月1日	大和市消防団・分団旗を更新した。
平成14年 7月24日	第43回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第6分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
10月1日	消防団員の防寒着をフライトジャンパー式に変更した。
平成15年 7月27日	大和市技術競技会が開催され、最優秀賞第2分団・優秀賞第3分団・優良賞第8分団が受賞した（引地台公園多目的広場にて実施）。
9月26日	第7分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1990ccに更新した。
平成16年 3月2日	第2分団車庫詰所（鉄骨造平屋建）を下鶴間2359番地に建設した。
4月1日	鈴木茂雄氏が県央都市消防団長会会長就任（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）
4月6日	第4分団車庫詰所（鉄骨造2階建）を大和南一丁目7-14に建設した。

7月28日	第44回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第3分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
平成17年 2月 2日	第2分団・第4分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。
7月24日	大和市消防団操法大会（技術競技会名称を改正）が開催され、最優秀賞第2分団・優秀賞第8分団・優良賞第10分団が受賞した（引地台公園多目的広場にて実施）。
12月 5日	第11分団1班車庫詰所（鉄骨造平屋建）を代官一丁目20に建設した。
平成18年 4月 1日	大和市消防団第11代消防団長に山下正秀氏就任
7月26日	第45回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第5分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
平成18年10月 1日	作業服を総務省の準則に準拠した活動服に変更した。
12月 8日	第9分団車庫詰所（鉄骨造2階建）を中央六丁目2-23に建設した。
平成19年 2月 8日	日本消防協会会長表彰として「竿頭綬」が消防団に授与された。
7月29日	大和市消防団操法大会が開催され、最優秀賞第2分団・優秀賞第3分団・優良賞第11分団が受賞した（引地台公園多目的広場にて実施）。
10月25日	第12分団車庫詰所（鉄骨造2階建）を渋谷八丁目16-11に建設した。
平成20年 1月24日	第6分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ1990ccに更新した。
4月 1日	山下正秀氏が県央都市消防団長会副会長就任（平成20年4月1日から平成22年3月31日まで）
4月 1日	団本部に本部分団長2人を配置した。
7月30日	第46回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第11分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
12月 3日	第10分団3班・第12分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。
平成21年 1月22日	第10分団3班車庫詰所（鉄骨造2階建）を上和田1191番地1に建設した。

7月26日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第2分団・優秀賞第12分団・優良賞第3分団が受賞した（引地台公園多目的広場にて実施）。
10月5日	第8分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。
平成22年4月1日	大和市消防団第12代消防団長に北島照介氏就任
5月30日	旧相模原土木管内の4市合同水防演習が相模川河川敷で行われた。
7月25日	第47回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第12分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
平成23年3月11日	東北地方太平洋沖地震発生により、市内震度5弱を観測したため全団員に非常招集・詰所待機の指示（市内に大きな被害なし）。
3月22日	神奈川県消防協会より「竿頭綬」が消防団に授与された。
平成23年7月31日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第2分団・優秀賞第9分団・優良賞第8分団が受賞した（引地台公園多目的広場にて実施）。
平成24年3月1日	大和市消防団にチェーンソー17台を配備した。
3月4日	第7分団車庫詰所（鉄骨造2階建）を西鶴間四丁目2-31に建設した。
3月12日	大和市消防団にデジタルMCA無線機40台を配備した。
4月1日	北島照介氏が県央都市消防団長会副会長就任（平成24年4月1日から平成26年3月31日まで）
7月24日	第48回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第2分団が出場し、優秀賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
10月16日	積載台車付小型動力ポンプ7台及び震災対策用資機材（レスキューキット）34台を配備した。
平成25年7月21日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第2分団・優秀賞第9分団・優良賞第11分団が受賞した（引地台公園多目的広場にて実施）。
7月25日	積載台車付小型動力ポンプ8台を配備した。
8月30日	第1分団・第3分団3班に資機材倉庫を設置した。
平成26年1月24日	第5分団・第9分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。

3月31日	第3分団1班・第6分団・第8分団・第10分団1班・第10分団2班に資機材倉庫を設置した。
4月1日	消防団活動に積極的に協力している事業所等に表示証を交付し、地域の消防防災力の充実及び強化を図るため、大和市消防団協力事業所表示制度実施要綱を制定した。
8月1日	株式会社篤厚自動車、社会福祉法人二津屋福祉会ロゼホームつきみ野、極東開発工業株式会社横浜工場の3事業所が大和市消防団協力事業所表示制度の認定を受け表示証が交付された。
7月30日	第49回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第9分団が出場し、優秀賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
11月28日	第11分団2班に資機材倉庫を設置した。
平成27年1月28日	積載台車付小型動力ポンプ2台を配備した。
8月2日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第2分団・優秀賞第10分団・優良賞第3分団Aが受賞した（引地台公園多目的広場にて実施）。
平成28年2月14日	第1分団・第11分団2班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。
4月1日	大和市消防団第13代消防団長及び県央都市消防団長会副会長に井上貴雄氏が就任（平成28年4月1日から平成30年3月31日まで）
7月28日	第50回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第4分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
平成29年2月25日	第3分団1班・第10分団2班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。
2月25日	第3分団2班車庫詰所（鉄骨造2階建）を深見3021番地2に建設した。
7月2日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第9分団・優秀賞第2分団・優良賞第1分団が受賞した（引地台公園多目的広場にて実施）。
平成30年3月4日	第3分団2班・第11分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。
7月25日	第51回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第1分団が出場し、49年ぶりの快挙となる最優秀賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
10月16日	消防団本部の車両を消防団連絡車に更新した。

平成31年 1月27日	第10分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。
令和元年 8月 4日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第1分団・優秀賞第7分団・優良賞第10分団が受賞した（大興物産株式会社横浜支店横浜機材センターにて実施）。
8月 8日	消防団本部に消防団資機材搬送車を配置する。
令和 2年 2月22日	第3分団3班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新した。
2月22日	第11分団2班車庫詰所（鉄骨造2階建）を上和田3429番地4に建設した。
4月 1日	大和市消防団第14代消防団長及び県央都市消防団長会副会長に小菅 実氏が就任（令和2年4月1日から令和4年3月31日まで）
7月15日	第52回県消防操法大会が新型コロナウイルス感染症の影響にて中止
12月 7日	消防団専用スタンドパイプ消火資機材を配備した。
令和 3年 7月14日	第53回県消防操法大会が新型コロナウイルス感染症の影響にて中止
令和 4年 2月25日	有限会社アクティブテクノが、総務省消防庁長官から消防団活動に協力している実績が特に顕著な事業所等として消防団等地域活動表彰を受賞する。
3月24日	市の消防団活動に取り組み、社会貢献した学生の就職活動支援を目的とする大和市学生消防団活動認証制度を制定した。
3月30日	消防団員の処遇改善、団員確保を目的に費用弁償としていた出動手当を改め出動報酬を創設して報酬額を上げ、条例改正を行った。
7月15日	第54回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第8分団が出場し、優良賞を受賞した（県総合防災センターにて実施）。
令和 5年 3月30日	大和市消防車両等の管理及び安全運転の服務に関する規程を制定した。

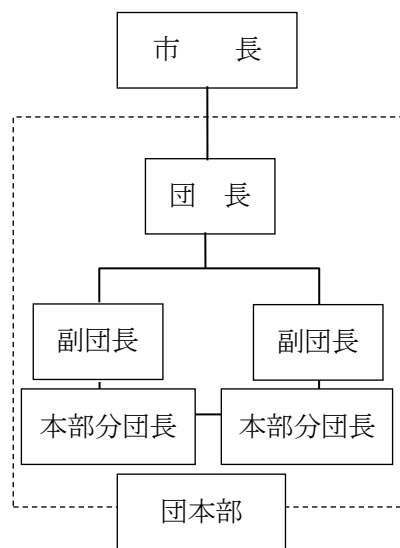
2 歴代消防団長

(敬称省略)

歴代	氏名	就任年月日
初代	荻 窪 直 義	昭和34年2月1日
2代	佐 藤 幸 光	昭和36年1月14日
3代	北 嶋 次 郎	昭和39年2月7日
4代	金 子 利 良	昭和40年1月26日
5代	平 出 寛	昭和42年1月31日
6代	坪 井 源 二 郎	昭和44年4月1日
7代	木 下 隆 吉	昭和50年4月1日
8代	菅 沼 善 治 郎	昭和58年4月1日
9代	岩 崎 豊	平成4年4月1日
10代	鈴 木 茂 雄	平成10年4月1日
11代	山 下 正 秀	平成18年4月1日
12代	北 島 照 介	平成22年4月1日
13代	井 上 貴 雄	平成28年4月1日
14代	小 菅 実	令和2年4月1日

3 消防団の現況

(1) 消防団組織



(令和5年4月1日現在)

	消防団員数 (定員 250 人)								ポンプ数 小型動力ポンプ付積載車
	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
合計	212 (9)	1	2	14	12	12	38 (1)	133 (8)	17
第1分団	5	1	2	2	—	—	—	—	—
第2分団	15	—	—	1	1	1	3	9	1
第3分団 3班	24 (1)	—	—	1	1	1	4	17 (1)	3
第4分団	12 (3)	—	—	1	1	1	3 (1)	6 (2)	1
第5分団	14 (2)	—	—	1	1	1	3	8 (2)	1
第6分団	17	—	—	1	1	1	3	11	1
第7分団	16	—	—	1	1	1	3	10	1
第8分団	13	—	—	1	1	1	3	7	1
第9分団	14 (1)	—	—	1	1	1	3	8 (1)	1
第10分団 3班	27 (1)	—	—	1	1	1	4	20 (1)	3
第11分団 2班	21 (1)	—	—	1	1	1	3	15 (1)	2
第12分団	18	—	—	1	1	1	3	12	1

※ () 内は女性団員数

※ 1団 12個分団 5班 17車両

(2) 消防分団受持区域図

消防団は、地域社会における防災の中核として重要な役割を果たしています。

本市では、市内を12のブロックに分け、1消防団本部、12個分団、17車両を配置しております。

(受持区域)

第1分団	下鶴間の一部並びにつきみ野三丁目の一部、四丁目及び五丁目～八丁目まで
第2分団	下鶴間の一部、つきみ野一丁目、二丁目、三丁目の一部及び四丁目の一部、下鶴間一丁目及び二丁目並びに中央林間七丁目
第3分団	深見の一部、深見台一丁目の一部、二丁目、三丁目の一部及び四丁目、深見東一丁目～三丁目まで、深見西二丁目の一部、三丁目の一部、四丁目の一部及び五丁目～八丁目まで並びに大和東三丁目の一部
第4分団	大和東一丁目の一部、二丁目及び三丁目の一部、深見西一丁目、二丁目の一部、三丁目の一部及び四丁目の一部、大和南一丁目及び二丁目並びに深見台一丁目の一部及び三丁目の一部
第5分団	中央林間一丁目～六丁目まで、八丁目及び九丁目及び中央林間西一丁目～七丁目まで
第6分団	南林間一丁目～九丁目まで並びに林間一丁目及び二丁目
第7分団	西鶴間一丁目～八丁目まで並びに鶴間一丁目及び二丁目
第8分団	上草柳、上草柳一丁目～九丁目まで及び桜森一丁目～三丁目まで
第9分団	下草柳、中央一丁目～七丁目まで、草柳一丁目～三丁目まで並びに柳橋一丁目及び四丁目の一部
第10分団	上和田の一部、福田の一部、柳橋二丁目、三丁目、四丁目の一部及び五丁目並びに福田一丁目、二丁目、七丁目及び八丁目
第11分団	上和田の一部、代官一丁目～四丁目まで、福田の一部及び三丁目～六丁目まで並びに渋谷一丁目～三丁目まで、四丁目の一部、五丁目の一部及び六丁目の一部
第12分団	上和田の一部、下和田の一部、福田の一部並びに渋谷四丁目の一部、五丁目の一部、六丁目の一部、七丁目及び八丁目



※ 各分団の受持ち区域はありますが、災害時や訓練及び催事の際、隣接分団との協力体制は万全に図られており、大和市全体をカバーしています。

(3) 消防分団施設

(令和5年4月1日現在)

区分 分団 班	車庫詰所・機械器具置場					
	所在地	建築年月	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
1	下鶴間 466-2	S 58.2	鉄骨造 2 階建	103.79	29.81	49.67
2	下鶴間 2359	H 16.3	鉄骨造平屋建	134.56	69.12	69.12
3	1 深見 484-4	S 57.3	鉄骨造 2 階建	105.03	29.81	49.67
	2 深見 3021-2	H 29.2	鉄骨造 2 階建	120.06	44.90	74.35
	3 深見 3328-14	S 59.3	鉄骨造 2 階建	126.25	29.81	49.67
4	大和南一丁目 7-14	H 16.4	鉄骨造 2 階建	67.71	36.92	65.04
5	中央林間一丁目 4-9	H 10.3	鉄骨造 2 階建	132.51	42.07	83.09
6	南林間三丁目 7-6	S 62.2	鉄骨造 2 階建	138.18	29.81	49.67
7	西鶴間四丁目 2-31	H 24.3	鉄骨造 2 階建	129.52	36.90	73.80
8	上草柳 197-5	S 58.2	鉄骨造 2 階建	116.00	29.81	49.67
9	中央六丁目 2-23	H 18.12	鉄骨造 2 階建	100.00	38.27	73.80
10	1 上和田 947-15	S 57.3	鉄骨造 2 階建	138.38	29.81	49.67
	2 福田一丁目 30-3	S 59.3	鉄骨造 2 階建	120.00	29.81	49.67
	3 上和田 1191-1	H 21.1	鉄骨造 2 階建	130.19	38.17	73.80
11	1 代官一丁目 20	H 17.12	鉄骨造平屋建	95.00	47.27	47.27
	2 上和田 3429-4	R 2.2	鉄骨造 2 階建	137.44	67.50	127.50
12	渋谷八丁目 16-11	H 19.10	鉄骨造 2 階建	120.00	39.40	74.52
器具 置場	鶴間一丁目 13-23	S 55.3	鉄骨造 2 階建	167.72	23.18	43.05

(4) 消防分団現有車両

(令和5年4月1日現在)

区分 分団 班	種 別	登録 年月	登 録 番 号	エンジン 排気量 (cc)	ポ ン プ		備 考	
					社名	級別		
団本部	消防団連絡車	H 30.10	相模 301 め 9327	2,350				
団本部	消防団 資機材搬送車	R 1.7	相模 480 せ 8367	650				
1	小型動力 ポンプ付積載車	H 28.1	相模 800 せ 58	1,990	ト-ハツ	B-2	デジタル 無線 受令機 積 載	
2	〃	H 17.2	相模 800 す 701	1,990	〃	〃		
3	1	〃	H 29.1	相模 800 せ 914	1,990	〃		〃
	2	〃	H 30.1	相模 800 せ 1888	1,990	〃		〃
	3	〃	R 2.2	相模 800 せ 3976	1,990	〃		〃
4	〃	H 17.2	相模 800 す 702	1,990	〃	〃		
5	〃	H 26.1	相模 800 す 8587	1,990	〃	〃		
6	〃	H 20.1	相模 800 す 4108	1,990	〃	〃		
7	〃	H 15.9	相模 800 さ 8710	1,990	〃	〃		
8	〃	H 21.10	相模 800 す 5468	1,990	〃	〃		
9	〃	H 26.1	相模 800 す 8586	1,990	〃	〃		
10	1	〃	H 31.1	相模 800 せ 2928	1,990	〃		〃
	2	〃	H 29.1	相模 800 せ 916	1,990	〃	〃	
	3	〃	H 20.12	相模 800 す 4873	1,990	〃	〃	
11	1	〃	H 30.1	相模 800 せ 1887	1,990	〃	〃	
	2	〃	H 28.1	相模 800 せ 59	1,990	〃	〃	
12	〃	H 20.12	相模 800 す 4874	1,990	〃	〃		

4 消防団員

(1) 年齢別・階級別消防団員数

(令和5年4月1日現在)

区分 年齢別	人数計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
18歳未満	1							1
18歳								
19歳	4							4
20歳	1							1
21歳	3							3
22歳	3							3
23歳								
24歳	1							1
25歳	1							1
26歳	1							1
27歳	4							4
28歳	2							2
29歳	1							1
30歳	1							1
31歳	1							1
32歳	1							1
33歳	3							3
34歳	2				1			1
35歳	4							4
36歳	9						4	5
37歳	5			1			1	3
38歳	4					1		3
39歳	7						1	6
40歳	9				1		2	6
41歳	6					1	2	3
42歳	5						1	4
43歳	2					1		1
44歳	10				1		1	8
45歳	9				1		3	5
46歳	8				1	2	2	3
47歳	10			1	2		3	4
48歳	8			1			2	5
49歳	13			1	3	1	1	7
50歳	12			3		2	3	4
51歳	4						2	2
52歳	8			3	1		1	3
53歳	5					1	1	3

54歳	6			1	1	1		3
55歳	8		1	1				6
56歳	5		1	1				3
57歳	8					1	3	4
58歳	3						1	2
59歳								
60歳	1							1
61歳	2			1				1
62歳	4						2	2
63歳	1							1
64歳								
65歳以上	6	1				1	2	2
合計	212	1	2	14	12	12	38	133

※ 令和5年4月1日現在の平均年齢は44.77歳です。

(2) 在職年数別消防団員数

(令和5年4月1日現在)

在職年数別 分団別	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団本部	5					1		4
第1分団	15	5	5	1	3		1	
第2分団	16	9	4		2	1		
第3分団	24	3	2	6	6	5	2	
第4分団	12	4	2	1	4		1	
第5分団	14	7	1	3	3			
第6分団	17	8	5		2	1	1	
第7分団	16	4	2	3	2	1	2	2
第8分団	13	2	2	2	5	1	1	
第9分団	14	4	4	3		1		2
第10分団	27	6	8	6	3	3		1
第11分団	21	6	8	1	3		2	1
第12分団	18	5	4	5	1	2		1
合計	212	63	47	31	34	16	10	11

(3) 職業別消防団員数

(令和5年4月1日現在)

職業 区分 分団別	合 計	職業別消防団員数					就業形態別消防団員数						
		国家公務員	日本郵政 グループ	地方公務員	特殊法人等 公務員	その他	被 用 者	被 用 者 の あ る 業 主	被 用 者 の な い 業 主	家 族 従 業 者	役 員	その他	
												学 生	そ の 他
団本部	5					5			1	1	3		
第1分団	15					15	7	1	2	1	1	3	
第2分団	16					16	9	1	2	1	1	2	
第3分団	24		1		1	22	15		1	1	6		1
第4分団	12			1		11	7				2	1	2
第5分団	14					14	6	1	3		3	1	
第6分団	17		6			11	8	1	1	2	5		
第7分団	16		1	1		14	11				5		
第8分団	13			1		12	7		1	3	2		
第9分団	14				1	13	10	1	1	1	1		
第10分団	27					27	17	1	2	3	4		
第11分団	21					21	10	2			4	1	4
第12分団	18			1		17	6	3	2		5	1	1
合 計	212	0	8	4	2	198	113	11	16	13	42	9	8

5 報酬及び手当

(1) 消防団員報酬

(令和5年4月1日現在)

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年額報酬(円)	127,000	101,000	82,000	57,000	51,000	44,500	41,500

(2) 消防団員出動手当

(令和5年4月1日現在)

区 分	単 位	金 額
水、火災の発生による出動	1日あたり4時間未満	4,000円
	1日あたり4時間以上	8,000円
警戒・訓練のための出動	1日あたり	3,000円

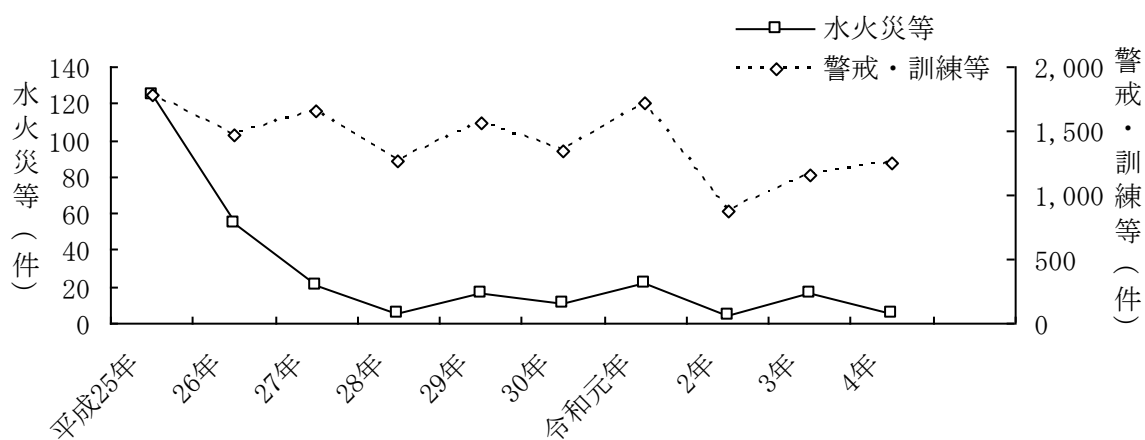
※ 報酬及び出動手当は、大和市が条例で規定している額であり市町村によって異なります。
本市のそれぞれの額は、概ね県内自治体の額の平均額です。

6 出動状況

(1) 年次別出動状況

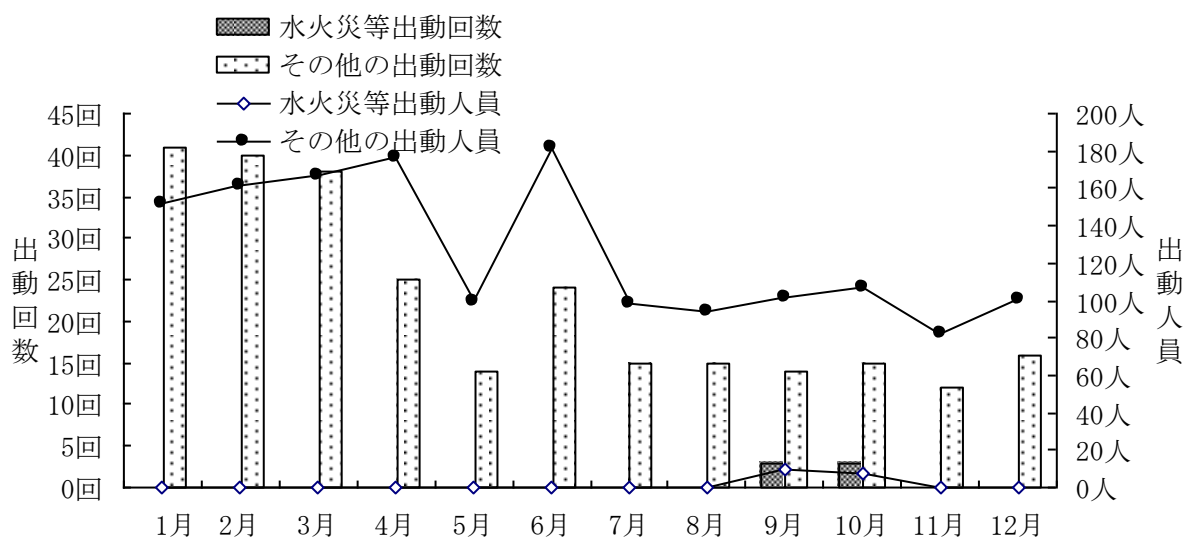
種別 年別	合 計	水火災等	警戒・訓練等
平成25年	1,911	125	1,786
26年	1,518	55	1,463
27年	1,677	21	1,656
28年	1,273	6	1,267
29年	1,583	16	1,567
30年	1,353	11	1,342
令和元年	1,747	22	1,725
2年	883	4	879
3年	1,139	16	1,123
4年	1,256	6	1,250

【年次別出動件数】



(2) 月別出動状況

出動別 月別	合計		演習・訓練等		広報・指導		その他 (車両・器具点検)		火災						風水害等の災害	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	4 h 未満		4 h 以上		再燃パトロール		回数	人員
									回数	人員	回数	人員	回数	人員		
合計	1,256	6,585	605	3,080	376	1,966	269	1,522	6	17						
1月	170	276	26	74	103	50	41	152								
2月	80	369	33	182	7	26	40	161								
3月	68	686	18	104	12	415	38	167								
4月	82	461	49	258	8	27	25	176								
5月	98	543	80	426	4	17	14	100								
6月	115	675	88	478	3	15	24	182								
7月	110	554	89	433	6	23	15	98								
8月	47	265	28	146	4	25	15	94								
9月	64	334	43	206	4	16	14	102	3	10						
10月	80	418	56	270	6	34	15	107	3	7						
11月	160	866	46	210	102	574	12	82								
12月	182	1,138	49	293	117	744	16	101								



7 操法大会のあゆみ

(1) 神奈川県消防操法大会

年 度	大会	種 目	出 場 分 団	開 催 場 所	備 考
昭和 43 年	18 回	自動車ポンプ	第 7 分団 (現第 6 分団)	平塚市訓練センター	
44 年	19 回	小型動力ポンプ	第 3 分団	横須賀市不入斗公園	最優秀
45 年	20 回	自動車ポンプ	第 10 分団 (現第 5 分団)	神奈川県消防学校	
46 年	21 回	小型動力ポンプ	第 12 分団 (現第 11 分団)	神奈川県消防学校	
47 年	22 回	自動車ポンプ	第 13 分団 (現第 12 分団)	神奈川県消防学校	
48 年	23 回	自動車ポンプ	第 2 分団	神奈川県消防学校	
49 年	24 回	自動車ポンプ	第 5 分団 (現第 9 分団)	神奈川県消防学校	
50 年	25 回	小型動力ポンプ	第 8 分団 (現第 7 分団)	神奈川県消防学校	
51 年	26 回	自動車ポンプ	第 6 分団 (現第 4 分団)	神奈川県消防学校	優良
52 年	27 回	自動車ポンプ	第 1 分団	神奈川県消防学校	優良
53 年	28 回	小型動力ポンプ	第 9 分団 (現第 7 分団)	神奈川県消防学校	優良
54 年	29 回	小型動力ポンプ	第 4 分団 (現第 8 分団)	神奈川県消防学校	優良
55 年	30 回	小型動力ポンプ	第 11 分団 (現第 10 分団)	神奈川県消防学校	優良
56 年	31 回	小型動力ポンプ	第 7 分団 (現第 6 分団)	横浜市杉田製作所ヘリポート	優良
57 年	32 回	小型動力ポンプ	第 3 分団	横浜市杉田製作所ヘリポート	優秀
58 年	33 回	小型動力ポンプ	第 10 分団 (現第 5 分団)	平塚市オーミケンシ(株)工場跡	優良
59 年	34 回	小型動力ポンプ	第 12 分団 (現第 11 分団)	横浜市杉田製作所ヘリポート	優良
61 年	35 回	小型動力ポンプ	第 12 分団	平塚市オーミケンシ(株)工場跡	優良
63 年	36 回	小型動力ポンプ	第 2 分団	横浜市消防訓練センター	優良
平成 2 年	37 回	小型動力ポンプ	第 9 分団	横浜市消防訓練センター	優秀
4 年	38 回	小型動力ポンプ	第 4 分団	横浜市消防訓練センター	優秀
6 年	39 回	小型動力ポンプ	第 1 分団	横浜市消防訓練センター	優良
8 年	40 回	小型動力ポンプ	第 7 分団	県総合防災センター	優良
10 年	41 回	小型動力ポンプ	第 8 分団	県総合防災センター	優良
12 年	42 回	小型動力ポンプ	第 10 分団	県総合防災センター	優良
14 年	43 回	小型動力ポンプ	第 6 分団	県総合防災センター	優良
16 年	44 回	小型動力ポンプ	第 3 分団	県総合防災センター	優良
18 年	45 回	小型動力ポンプ	第 5 分団	県総合防災センター	優良
20 年	46 回	小型動力ポンプ	第 11 分団	県総合防災センター	優良
22 年	47 回	小型動力ポンプ	第 12 分団	県総合防災センター	優良
24 年	48 回	小型動力ポンプ	第 2 分団	県総合防災センター	優秀
26 年	49 回	小型動力ポンプ	第 9 分団	県総合防災センター	優秀
28 年	50 回	小型動力ポンプ	第 4 分団	県総合防災センター	優良
30 年	51 回	小型動力ポンプ	第 1 分団	県総合防災センター	最優秀
令和 2 年	52 回	小型動力ポンプ	新型コロナウイルス感染症の影響にて中止(第 7 分団)		
3 年	53 回	小型動力ポンプ			
4 年	54 回	小型動力ポンプ	第 8 分団	県総合防災センター	優良

(2) 大和市消防操法大会

「第1回から第16回（令和元年度）まで」

	最優秀賞	優秀賞		優良賞		
第1回 (S60年)	第11分団 1班	第2分団	第8分団	第10分団 1班	第5分団	第1分団
第2回 (S62年)	第3分団 1班	第8分団	第2分団	第1分団	第10分団 1班	第12分団
第3回 (H元年)	第4分団	第11分団 2班	第5分団	第11分団 1班	第8分団	第9分団
第4回 (H3年)	第11分団 1班	第3分団B		第1分団		
	最優秀賞	優秀賞	優良賞	特別賞	PR賞	
第5回 (H5年)	第6分団	第3分団B	第3分団A			
第6回 (H7年)	第8分団	第11分団 2班	第4分団			
第7回 (H11年)	第8分団	第7分団	第3分団B	第2分団		
第8回 (H15年)	第2分団	第3分団A	第8分団	第7分団	第1分団	
第9回 (H17年)	第2分団	第8分団	第10分団	第5分団	第1分団	
	最優秀賞	優秀賞	優良賞	特別賞	努力賞	
第10回 (H19年)	第2分団	第3分団A	第11分団	第9分団	第8分団	
第11回 (H21年)	第2分団	第12分団	第3分団A	第6分団	第11分団 第4分団	
第12回 (H23年)	第2分団	第9分団	第8分団	第7分団	第3分団B	
第13回 (H25年)	第2分団	第9分団	第11分団	第1分団	第8分団	
	最優秀賞	優秀賞	優良賞	消防火の丸会 会長賞	努力賞	
第14回 (H27年)	第2分団	第10分団	第3分団A	第9分団	第7分団	
第15回 (H29年)	第9分団	第2分団B	第1分団	第9分団	第7分団	
第16回 (R元年)	第1分団	第7分団	第10分団	第1分団	第2分団	

※ 第10回大会からPR賞を廃止、努力賞へ変更

※ 第15回大会より特別賞を廃止し、消防火の丸会会長賞へ変更

※ 令和3年に予定されていた市操法大会は新型コロナウイルスの影響により未開催

8 大和市消防団協力事業所

消防団が活動するための良好な環境づくりの推進に対し、事業所等が重要な役割を果たしていることに鑑み、大和市消防団の活動に積極的に協力している事業所等に対して表示証を交付し、地域の消防防災力の一層の充実及び強化を図ります。

(1) 総務省消防庁消防団協力事業所（ゴールドマークプレート）

- ・有限会社 アクティブテクノ

(2) 大和市消防団協力事業所（シルバーマークプレート）

- ・株式会社 篤厚自動車
- ・極東開発工業株式会社 横浜工場
- ・有限会社 アクティブテクノ

9 消防団等地域活動表彰

地域に密着した平常時の活動を積極的に行い、地域防災力の向上に寄与し、消防団員である勤務者を雇用し、消防団活動へ特に深い理解や協力を示している事業所等に対して消防長長官から表彰状と記念品を授与されるものです。

- ・有限会社 アクティブテクノ（令和3年度受賞）

大 和 市 消 防 年 報

(令和5年版)

令和5年9月刊行

編集 大和市消防本部

〒242-0018 大和市深見西四丁目4番6号

電 話 046-261-1119 (代)

F A X 046-262-0119
